

令和3年度 事業計画

[1]基本方針

新型コロナウイルスが令和2年当初に発生して世界的にまん延しましたが、1年間のうちには終息するのではと考えていました。しかし、令和2年12月から再拡大して全国的に感染が広がっています。この感染に伴い、当センターの契約額にも大きな影響を及ぼしており、早期に終息することを願っているところです。

新型コロナウイルスの変異株による感染が再拡大し、少子高齢化と人口減少がさらに進展する中で、人手不足問題が課題になっており、高齢者を活用することが極めて重要であり、労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対し、企業や自治体、個人家庭等から大きな期待が寄せられています。

このような大きな期待が寄せられている中で、当センターの現状は厳しく、継続雇用や再任用制度により新規入会される方が減少し、退会者が入会者を上回り、会員数の減少に歯止めがかからない状況です。

今後においては、働く意欲があり能力を持った高齢者の多くが会員となり、全シ協が策定した「会員100万人達成計画」に基づき、女性会員の拡大を含めた会員拡大に取り組んでいかなければなりません。

今後とも、センターの基本理念である「自主・自立、協働・共助」のもと、会員一人ひとりが「親切・丁寧・誠実な就業」を提供することによって、地域からシルバー人材センターへの期待が一層高まり、活力ある地域づくりに貢献できるセンターとなるよう各種事業を推進していきます。

[2]事業実施計画

1 安全就業の徹底

会員の安全就業や事故ゼロを目指すために「安全は全てに優先する」を会員の共通認識として掲げ、安全意識の徹底を図るため、安全就業基準の遵守、安全就業への心構え等の啓発を図り事故の防止に努めます。

(1) 安全委員会において、事故発生状況に基づく原因究明と再発防止に向けた事故防止対策を講じます。また、就業現場の安全パトロールと事故防止の啓発、安全指導に努めます。さらに、各支部、事業所において安全委員、職員による随時の安全パトロールを実施します。

(2) 就業前には、就業者全員で就業現場周辺の点検・確認を行い、危険箇所等

の情報共有を行うとともに、安全装備の設置及び安全保護具の着用の徹底を図ります。

- (3) 事故率の高い草刈機・チェーンソーの安全な取扱い、作業方法を習得するため安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図ります。

2 適正就業及び就業機会の推進

- (1) 発注者や会員に対しシルバー事業のしくみである「臨時的かつ短期的または軽易な業務」を正しく理解してもらうため、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を配布し、適正就業を推進します。
- (2) 発注者からの指揮命令を受けたり、発注先の労働者と混在するような「請負・委任事業になじまない就業」については、兵シ協が実施する一般労働者派遣事業で対応します。
- (3) 知識・経験・技能を幅広く持った高齢者の会員への入会を促進するため、役職員・会員の「ロコミ」による会員勧誘の強化を図ります。特に、会員が不足している剪定・草刈・草引き業務については、会員による会員紹介があった場合は褒賞品を贈呈し、会員確保に努めます。

3 地域課題の解決に向けた事業の拡大

市・町と連携して立ち上げた「空き家等の管理代行」及び高齢者等へのちょっとした仕事「ちょこっとサービス事業」について、地域の課題解決に向けて事業の拡大を図ります。

4 普及・啓発活動の推進

- (1) 会報「シルバーだより」の発刊や啓発用チラシの配布を行うとともに、インターネットのホームページによってセンターの紹介をはじめ行事予定や活動報告等の情報を掲載して、会員及び発注者並びにこれから会員になろうとする方に豊富な情報を提供します。
- (2) 入会説明会を月2回開催し、シルバー人材センターの趣旨及び事業内容を説明し、入会の促進を図ります。また、「いきいき美容教室」等のイベントを兼ねた女性入会説明会を開催し、女性の積極的な参加を促し、女性会員の確保を図ります。

5 講習会・研修会の開催

- (1) 会員の技能習得、技術の向上及び後継者育成のための技能講習会等を実施します。
- (2) 会員の健康・福祉増進に向けた講演会を開催します。

6 たつの市福社会館の管理

たつの市から指定管理者の指定を受けているたつの市福社会館の適正な管理を行い、もって地域福祉の増進を図ります。

7 財政の健全化

センター事業の運営では財政面での安定が重要な課題であり、運営経費の節減と就業開拓を通じて事業収益の拡大に努めます。

8 支部・事業所の統廃合について

ここ数年、経常増減額は赤字が続いており、その大きな原因は支部・事業所が5か所あることから、その運営経費や人件費が大きな影響を与えている。こうしたことから、事業費及び地域エリアの小さい揖保川事業所及び御津事業所を令和4年度にたつの支部（本部）に統合する方向で検討を進めていきます。

9 事務局体制の充実等

- (1) 事務局職員は常に課題を把握し、自己研鑽を怠ることなく会員との信頼関係を深め、活気ある職場づくりに努めます。
- (2) 本部・支部・事業所がそれぞれ連携を密にし、効率的な業務運営に努めます。

10 その他の事業

- (1) 会員の親睦・ボランティア活動については、互助部会を中心に自主・自立の互助活動を展開します。また、地域での奉仕活動に積極的に参加します。
- (2) 独自事業の「貸衣裳事業」を引き続き実施します。